

遠藤氏邸 黒石藩

階下	71.37坪
階上	49.37坪
小屋裏	20.23坪
地下室	6.49坪
延坪	147.46坪

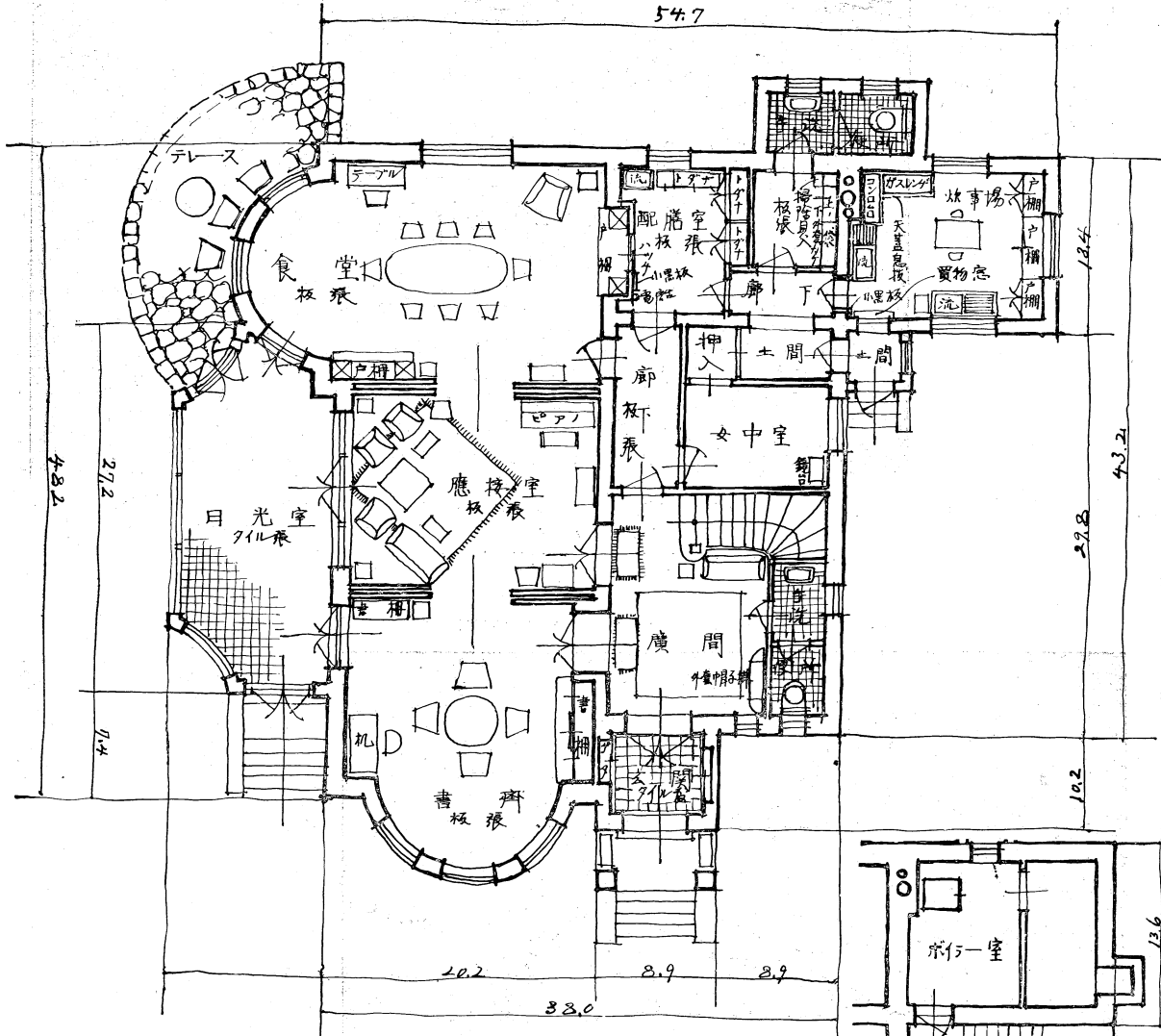


外観 腰粗石獨逸積、壁洞蛇腹下フェースブリック積、同上リソイド塗、屋根セメントモルタル瓦葺、サンルーム・ポーチ柱擬石塗、門礫滓カトブリック積、窓面積の廣いと欄間構造に博士の主張が現はれてゐる。

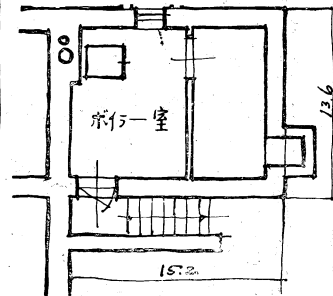


廣間 床板張、腰羽目板張、壁、天井漆喰、左は應接室と書齋への出入口、突當りは廊下を通つて食堂、配膳室への出入口

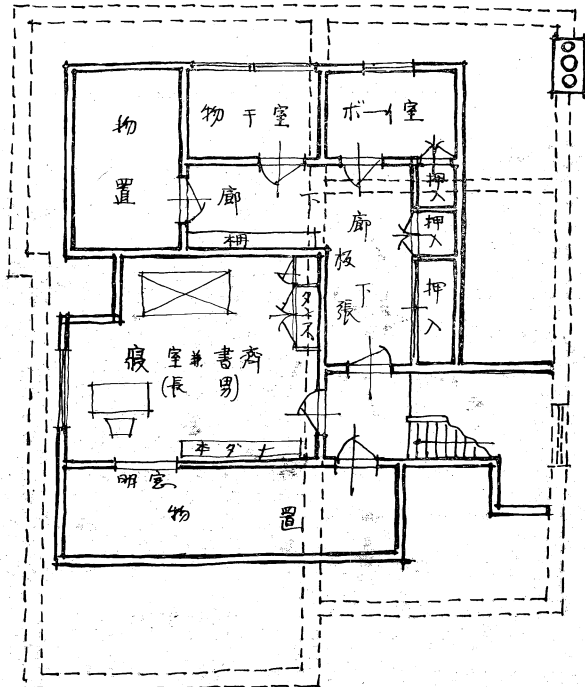
遠藤氏邸 黒石礎



階下平面圖

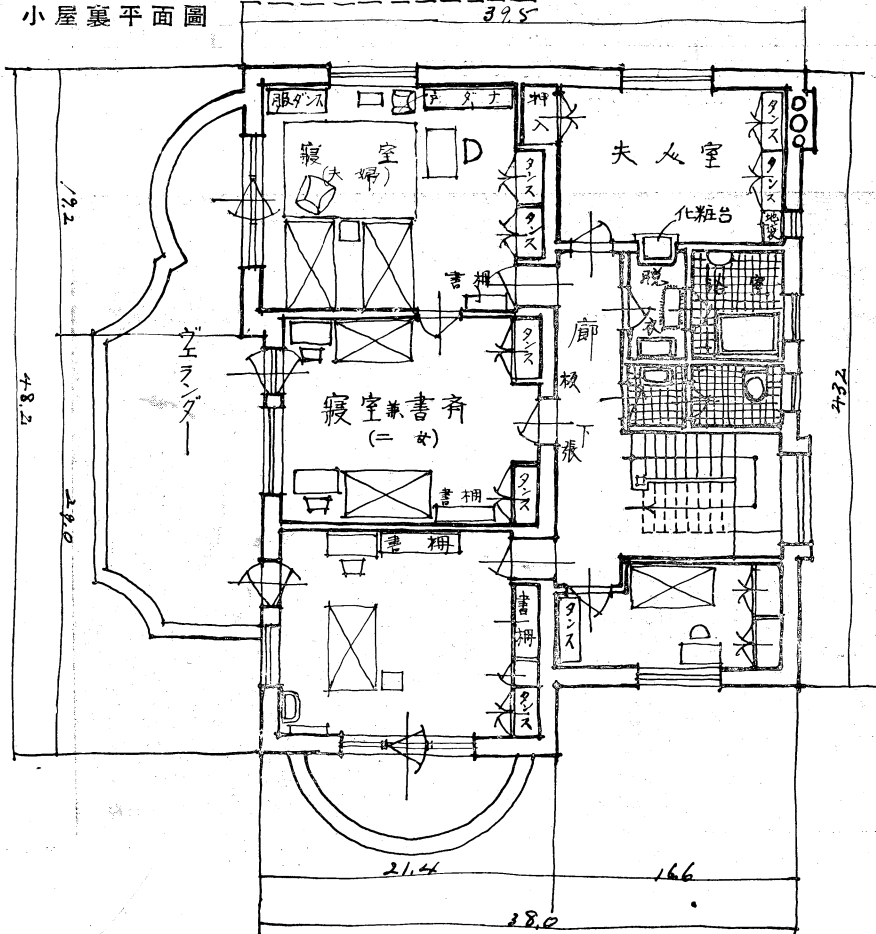


地下室平面圖

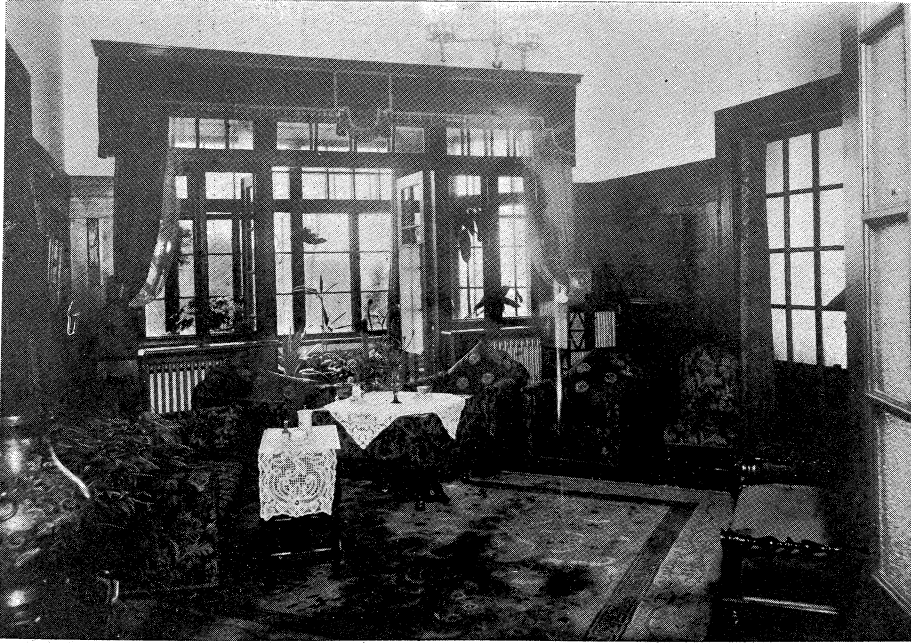


小屋裏平面圖

39.5



階上平面圖



應接間 床板張、腰羽目板張、壁、天井漆喰塗、正面窓の中央部が扉になつてみてサンルームへ能率良く連絡されてゐる。組椅子のサイズも適當で、配置にも意を用ひてゐる。



書齋 床、腰、壁、天井同上、ドアをあけるとサンルーム。應接間へは6尺2枚の引戸で聯絡する。アルコーヴから心持のよい朝日が流れ込むてゐる。

食 堂

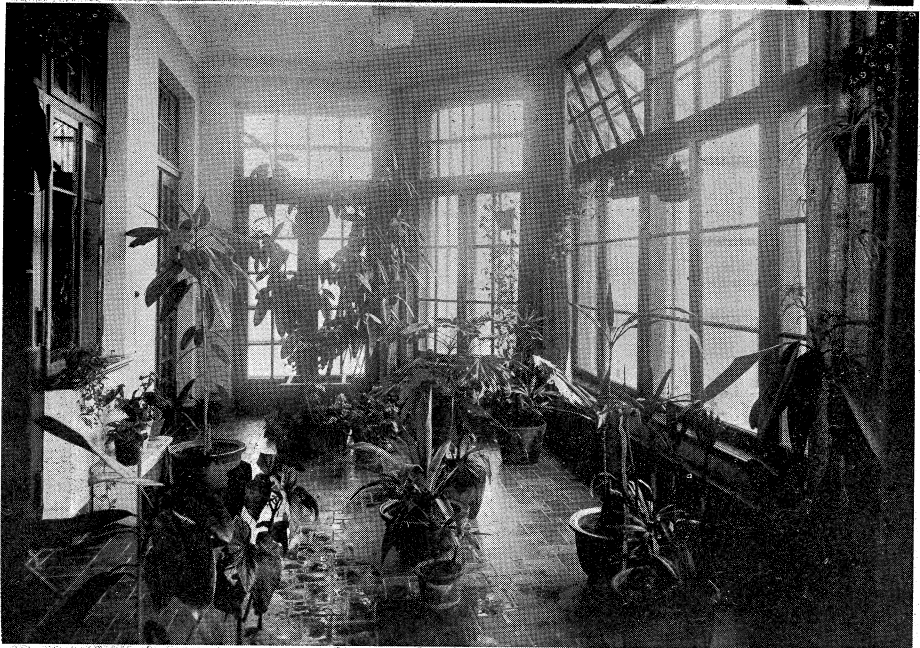
床、腰、壁、天井等應接間同斷

西側に廣い窓をあけて室内から海の眺めを窓にしてゐる。配膳室との境にはサイドボードが設けられてハッチにもなつてゐる。南側のアルコーズからサンルームへの連絡もよい。



サンルーム

床臺山窯製褐色タイル張、壁、天井漆喰塗、應接、書齋、食堂の各室から出られ更に食堂のアルコーズの外部に沿つて造られたテラスにも出られる。



寢 室

(長女)

東側の廣い窓の中央部がテラスへの出入口になつてゐる。窓の欄間構造には特別の注意が拂はれてゐる。

